

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人上島町社会福祉協議会

は じ め に

令和6年元日に発生した能登半島地震では、最大震度7を観測し石川県能登地方を中心に甚大な被害が発生しました。本会においても、愛媛県社協との災害時支援協定に基づき、被災地の災害ボランティアセンターへ継続的に職員を派遣し支援しています。

南海トラフ地震については、太平洋沿岸では10m以上の大津波が想定され上島町においても甚大な被害が予測されています。そうした中、令和5年度には自然災害や感染症が発生した場合でも、介護サービスを安定的に継続させることが重要であることから、業務を中断させない、また中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方針・体制・手順を示した業務継続計画（BCP計画）を作成しました。今後、より実態に即したものにしていこうとすることで、将来的な大規模災害にも対応できる体制を整えていくよう努めて参ります。

介護保険事業の運営においては、職員の処遇改善に向けた取り組みとして介護職員処遇改善加算を取得し、職員のモチベーション向上と定着、またサービスの質の向上に繋がるよう努めました。依然として物価の高騰や燃料費の上昇などの経済的要因が大きな課題となる中、利用者のニーズに応え、質の高いサービス提供に向けた努力を行い、事業の持続と発展に取り組みました。

また、本会の基本理念である「みんなで支え合う島 ふれあいのまちづくり」の実現のため、これから5年間の具体的な行動指針として、第2期地域福祉活動計画を策定しました。今後も、本計画を通じて、地域社会との連携を促進し住み慣れた地域で安全で安心して暮らすことができる社会の実現を、住民の皆様のご理解とご支援を賜りながら目指して参ります。

令和5年度における本会の事業を次のとおり報告します。

1. 法人運営事業

(1) 法人運営事業

名称	回	開催日 開催場所	出席/ 定数	協議内容
① 理事会	第1回	令和5年5月30日 生名デｲｰﾋﾞｽﾞﾝﾀｰ	13/15	①令和4年度事業報告書の承認について②令和4年度社会福祉事業会計計算書類の承認について③令和5年度社会福祉事業会計第1次資金収支補正予算書(案)について④理事・監事候補者の推薦について⑤補欠評議員候補者の推薦について⑥令和5年度第1回評議員選任・解任委員会の開催日時等について⑦令和5年度第1回評議員会の開催日時等について
	第2回	令和5年6月16日 生名デｲｰﾋﾞｽﾞﾝﾀｰ	10/15	①任期満了に伴う会長、副会長の選定について
	第3回	令和6年3月13日 生名デｲｰﾋﾞｽﾞﾝﾀｰ	13/15	①経理規程の一部改正について②令和5年度社会福祉事業会計第2次資金収支補正予算書(案)について③役員等賠償責任保険契約について④令和6年度事業計画書(案)について⑤令和6年度社会福祉事業会計資金収支予算書(案)について⑥補欠監事候補者の推薦について⑦令和5年度第2回評議員会の開催日時等について
② 評議員会	第1回	令和5年6月16日 生名デｲｰﾋﾞｽﾞﾝﾀｰ	12/21	①令和4年度事業報告書の承認について②令和4年度社会福祉事業会計計算書類の承認について③令和5年度社会福祉事業会計第1次資金収支補正予算書(案)について④理事及び監事の選任について
	第2回	令和6年3月21日 生名デｲｰﾋﾞｽﾞﾝﾀｰ	15/21	①令和5年度社会福祉事業会計第2次資金収支補正予算書(案)について②令和6年度事業計画書(案)について③令和6年度社会福祉事業会計資金収支予算書(案)について④補欠監事の選任について
③ 監事会	第1回	令和5年5月19日 生名デｲｰﾋﾞｽﾞﾝﾀｰ	2/2	①令和4年度における業務の執行状況及び財産の状況
任・解任委員会 ④ 評議員選	第1回	令和5年6月6日 弓削高齢者生活福祉センター	3/3	①補欠評議員の選任について

⑤ 社協会員の募集

各地区において、自治会、地区社協、理事・評議員の協力により、社協会員の募集を行った。

地区	一般会員 (1,000円)	賛助会員 (3,000円)	法人会員 (10,000円)	特別会員 (町外者)	計
生名	173,000	0	60,000	0	233,000
岩城	617,000	6,000	130,000	0	753,000
魚島	49,000	0	0	0	49,000
弓削	1,072,000	15,000	90,000	0	1,177,000
計	1,911,000	21,000	280,000	0	2,212,000

2. 地域福祉推進事業

(1) 企画・広報事業

社協活動の効果的な推進を図るため下記の広報活動を行った。

- ① 機関紙「社協だより」の発行 4回全戸配布(4月・7月・10月・1月)
- ② 「第9回上島町社会福祉大会」の開催
 - 令和5年10月31日(火) せとうち交流館
 - スローガン『みんなで支え合う島 ふれあいのまちづくり』
 - ワークショップ『地域をより良くするしくみづくり』

(2) 総合相談事業

事業の名称	事業内容	実績
①一般相談事業 (心配ごと相談事業)	住民の抱える様々な相談に応じ適切な助言・援助、関係機関への連絡・調整を行い福祉の増進を図る。	相談件数：6件
②生活困窮者 ・自立相談支援事業 (愛媛県受託事業)	積極的な訪問支援や地域ネットワークの働きかけにより、生活困窮者を早期に把握し、多様で複合的な課題を抱える生活困窮者が制度の狭間に陥ったり、生活保護の適用を受けることにならないよう、相談員が本質的な課題解決に向けた支援活動を行う。また、離職等により住宅を失った生活困窮者等に対し、家賃相当の「住居確保給付金」の支給を受けるための支援を行う。	新規相談：3名
・家計改善支援事業 (愛媛県受託事業)	家計収支の均衡が取れていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計の状況を明らかにして生活の再生に向けた意欲を引き出した上で、家計の視点から必要な情報提供や専門的な助言・指導等を行うことにより、相談者自身の家計を管理する力を高め、早期に生活が再生されるよう支援を行う。	うち、 プラン作成：2名 住居確保：0名 家計相談：0名 就労支援：1名
・就労準備支援事業 (愛媛県受託事業)	単に就労に必要な実践的な知識・技能等が欠けているだけでなく、複合的な課題があり、生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下している等の理由で就労に向けた準備が整っていない者に対して、就労に向けた準備としての基礎能力の形成を、計画的かつ一貫して支援を行う。	3月末継続支援者数：33名
③生活福祉資金貸付事業	低所得者、障がい者等に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行い、その経済的自立及び在宅福祉	相談者数：4名 貸付件数：2件

(愛媛県社会福祉協議会受託事業)	の促進と安定した生活を図る。	
	新型コロナウイルス感染症の影響による緊急小口資金等の特例貸付として、収入が減少した世帯に対し生活費の貸付事務を行った。	
④臨時特例つなぎ資金貸付事業 (愛媛県社会福祉協議会受託事業)	離職者であり、住居のない者に対し、公的貸付開始までの資金の貸付と必要な援助指導を行い、その経済的自立及び在宅福祉の促進と安定した生活を図る。	
⑤生活困窮者支援体制強化事業 (愛媛県社会福祉協議会受託事業)	生活福祉資金特例貸付の借受世帯を含む生活困窮者が安心して生活が送れるように、相談対応、見守り等の必要な支援を行った。	特例貸付借受世帯：11名
⑥福祉サービス利用援助事業	在宅で生活をされている方で、判断力が十分でない認知症の高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の方に対し、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、利用料の支払い等の支援を行う。	相談者数：0件 利用者数：1名 利用回数：13回
⑦法人後見事業	上島町の住民で障がい等により物事を判断する能力が十分でないと思われ、援助が必要とされる要支援者で、家庭裁判所の審判で成年後見人等が必要であると認められた場合、引き受け手がない要支援者の権利を擁護するために、法人後見人等として援助を行う。	相談者数：4名 利用者数：0名 利用回数：0回
	家庭裁判所の判断により後見監督人として選任され、後見人の監督や支援を行う。	支援者数：1名 支援回数：8回

(3) 地域活性化等事業

① 地区社協運営事業 (弓削)

地区社協会長会の開催 (せとうち交流館)

回	開催日	出席者	協議内容
第1回	令和5年7月28日	4名	1. 社協会員の募集について (依頼)
第2回	令和6年3月19日	4名	1. 令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画等について 2. 令和6年度交付金交付について 3. ボランティア行事用保険の加入について

② 福祉用具リサイクルサービス

家庭で使わなくなった福祉用具を提供する者とリサイクルを希望する者を社協だより及び本会ホームページで情報提供を行うことにより、福祉用具等の有効活用を図り地域福祉の推進に寄与することを目的として実施した。

福祉用具等の名称	提供数	希望者数
車いす	3	17
ポータブルトイレ	7	14
杖	9	9

シャワーチェア	5	8
シルバーカー	4	7
チャイルドシート	4	4
セニアカー	1	3
手すり	1	3
ジュニアシート	5	2
ベビーカー	2	2
幼児椅子	2	2
ベビーカー	2	2
浴槽手すり	2	1
幼児用歩行器	1	1
バウンサー	1	1
浴槽マット	1	1
4点杖	1	1
補助便座	1	1
幼児用携帯型便座	1	1
ベビーバス	1	
合 計	54	80

③ 福祉機器貸出事業

介護認定において、自立の者や障がい者等を対象に、必要に応じて各地区で保有している福祉機器等は無償で貸し出し、福祉の増進を目的に実施した。

機器等の名称	貸出件数
車いす	31
ポータブルトイレ	5
チャイルドシート	2

④ 地域福祉活動計画の推進

「みんなで支え合う島 ふれあいのまちづくり」を理念として、行政、関係機関・関係団体・ボランティア団体等と連携して、幅広い住民の参加のもと、支え合いによる地域づくりを推進するために、アンケート調査の実施や座談会の開催、社会福祉大会においてワークショップを実施するなど、第2期地域福祉活動計画の策定を行った。

(4) 共同募金関係事業

① 赤い羽根共同募金運動

10月～12月に行われる共同募金運動に伴い、自治会等を通じての住民や、学校等の協力を得て、募金運動を実施した。

目標額：1,180,000円 募金額：1,067,554円 達成率 90.5%

② 配分金事業

ア) 老人福祉関係事業

事業名	実施日	内 容	対象人数
高齢者と子供のためのクリスマス会	令和5年12月20日	魚島地区において教育振興会との共催によるクリスマス会を魚島小、中学校の協力を得て実施。欠席者と高井神については、個別に自宅を訪問した。	魚 島 55名 高井神 7名

・ふれあいいきいきサロン事業

高齢者の閉じこもりの防止、生きがいをづくりを目的に、感染拡大予防に努めながらふれあいいきいきサロンを開設した。

地区	サロン名称	開催場所	実施回数	延参加人数
生 名	ひまわり	3分団集会所	21	98
岩 城	やすらぎ	岩城開発センター	12	116
	なでしこ	長江公民館	12	48
弓 削	あかり	弓削老人福祉センター	20	101
	しおさい	せとうち交流館	10	46
	すこやか	弓削開発センター	10	18
魚 島	ひだまり	魚島東集会所	89	477
合 計	7カ所		174	904

イ) 障がい者福祉関係事業

事業名	実施日	内 容	参加人数
身体障がい者交流会	令和5年11月24日	町内の身体障がい者を対象に、レクリエーションを通して交流を深めることを目的として実施した	26名

ウ) 児童福祉関係事業

事業名	実施日	内 容	参加人数
福祉体験学習	8/22, 9/25 12/20, 3/1	高齢者疑似体験、車いす体験のほか、地域について考えるワークショップ行い、高齢者や車いす使用者に対する知識や理解を深めた。またデイサービスを訪問し高齢者と交流を深めた	岩城小6年 20名
	9/21, 10/25, 11/2		岩城中3年 11名
	5/23, 5/31 6/28, 7/13		弓削小6年 17名
	4/17, 5/25, 6/26 9/28, 11/13 1/18, 2/14	高齢者疑似体験、車いす体験のほか、選択授業『生活と福祉』においてデイサービスを訪問し高齢者と交流を深めた	弓削高3年 5名
	9/28, 9/29 12/4, 12/22	高齢者疑似体験、車いす体験のほか、ふれあいいきいきサロンを訪問し交流を深めた	全校生徒 7名

少年の日記念品	令和6年2月	中学校2年生を対象に少年の日を祝い記念品を贈呈した。	岩城中 9名 弓削中 17名 魚島中 4名
保育所卒園記念品	令和6年3月	保育所を卒園される園児に記念品を贈呈した。	生名 4名 岩城 5名 弓削 14名 魚島 0名

エ) ボランティア関係事業

地域でボランティア活動を推進する団体の、活動中の事故に備えての保険加入の促進を行った。※()は対前年増減数

地区	生名	岩城	弓削	魚島	合計
加入団体	1(-2)	3(-1)	11(+4)	0	15(+1)
加入者数	2(-8)	32(+9)	147(+32)	0	182(+33)

③ 歳末たすけあい運動

12月に行われる歳末たすけあい運動に伴い、民生児童委員の協力を得て街頭募金を行った。

実施日	場 所	募金額
令和5年12月8日	岩城 (JA岩城支店周辺)	79,496 円
令和5年12月8日	生名 (ポプラ生名店前・生名立石港務所前)	
令和5年12月13日	弓削 (フレニール前・Aコープ前)	

④ 歳末たすけあい募金配分金事業

事業名	内 容	対象人数(前年増減)
地域見守り活動	民生児童委員の協力を得て、町内の保育施設や小学校には図書を、施設入所者等には見舞品を配付した。	保育所 3園 小学校 4校 施設入所者等 123名

⑤ 災害備蓄品の整備

災害に備えて、本会が管理する各施設に備蓄を行った。

品名	個数
乾パン	240 缶
アルファ米	455 食

3. 介護保険サービス関係事業

(1) 上島町社協訪問介護事業所		延利用人数	前年増減
① 訪問介護事業	要介護1以上の利用者に対して、入浴、排せつ、食事の介助その他生活全般にわたる援助を行う	447	-24
② 総合事業	事業対象者・要支援の利用者に対して必要な日常生活上の支援を行う	316	1
③ 生活支援ホームへ	介護給付の対象とならない高齢者等に対し	0	0

ルプサービス事業 (上島町受託事業)	て日常生活に対する指導及び支援を行い、 要支援・要介護状態への移行を予防する		
(2) 上島町社協居宅介護支援事業所			
① 居宅介護支援事業	要介護1以上の利用者に対して、居宅介護 サービス計画の作成、介護サービス事業者 との連絡調整や介護保険施設の紹介等のケ アマネジメントを行う	1,228	-287
② 介護予防居宅介護 支援事業 (上島町受託事業)	上島町地域包括支援センターから委託され た要支援の者の介護予防プランを作成し、 適切なサービスが提供されるよう事業者や 関係機関との連絡調整を行う	210	-43
(3) 上島町社協<生名・岩城・弓削>通所介護事業所			
① 通所介護事業	要介護1以上の利用者に対して、必要な日 常生活の世話、機能訓練を行うことにより、 利用者の社会的孤立感の解消、心身の機能 の維持、家族の身体的、精神的負担の軽減 を図る	生名：165 岩城：398 弓削：412	生名：-65 岩城：-51 弓削：23
② 総合事業	事業対象者・要支援の利用者に対して、介護予 防を目的として送迎、入浴、レクリエーション 等のサービスを提供し、日常生活動作の維持・ 向上を行う	生名：85 岩城：176 弓削：162	生名：17 岩城：-4 弓削：24
③ 生きがい活動支援 通所事業 (上島町受託事業)	家に閉じこもりがちな介護給付の対象とな らない高齢者等に対し、通所介護サービス の提供により、高齢者の社会参加を促進す るとともに社会的孤立感の解消及び自立生 活の助長を行う	生名：0 岩城：0 弓削：0	生名：0 岩城：0 弓削：0

4. 障害福祉サービス事業

(1) 上島町社協特定相談支援事業所		延利用人数
① 特定相談支援事業	障害福祉サービスの受給資格を有する障がい者と利用契 約を締結し、サービス等利用計画を作成し、適切なサー ビスが提供されるよう事業者や関係機関との連絡調整を 行う。	51
(2) 上島町社協居宅介護事業所		延利用人数
① 居宅介護事業	障がい者及び障がい児と利用契約を締結し、利用者が可能な 限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活 を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を行う。	107
② 重度訪問介護事業	重度の肢体不自由または重度の知的障がいもしくは精神障 がい等と利用契約を締結し、生活全般にわたる援助や外出時 における移動中の介護を総合的に行う。	0
③ 移動支援事業	屋外での移動に困難がある障がい者及び障がい児につい て、外出のための支援を行うことにより、地域での自立 生活及び社会参加を促すための支援を行う。	29

5. 生活支援体制整備事業（上島町受託事業）

生活支援コーディネーターが日常生活上の支援が必要な高齢者等に対し、住み慣れた地域で生きがいを持ち在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコ

ーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図った。

○主な活動

開催日等	名称	内容
令和5年5月29日 令和5年11月7日 令和6年3月13日	上島町協議体	生活支援コーディネーターにおける活動の計画及び報告を行い、意見交換を行った
月1回開催	おたすけマン会議	主に地域住民の生活や各委員の活動について情報共有を行った
月1回開催	ハートリーフ座談会	かみじましてごと市への出展活動や、おたすけマン活動を行うと共に、地域における見守りについて意見を交わした
月1回開催	ささえ愛隊座談会	地域貢献と会員の確保を目的に、ENGAWA周辺の清掃活動を開始した
年4回	社協だより	生活支援コーディネーターの活動を紹介する記事を連載し、活動について周知を行った
令和5年7月27日	シニアサポーター交流会	生名・弓削ささえ愛隊と岩城ハートリーフ、地域住民の交流会をENGAWAにおいて開催し、26名が参加した
令和5年10月31日	上島町社会福祉大会	社会福祉大会においてワークショップ「地域をより良くするしくみづくり」を行い、参加者と共に考える機会を得た
令和5年11月～12月	資源調査	理美容利用に係る課題に対し、町内の理美容事業者における出張サービス及び送迎サービスについて、聞き取り調査を行った

6. 指定管理事業（公益事業）

（1）施設の管理運営

指定管理者制度による上島町の条例及び協定書に基づき、次の施設の管理運営を行った。（指定の期間：令和5年4月1日から令和10年3月31日）

- ・上島町生名デイサービスセンター（上島町生名2133番地3）
- ・上島町岩城高齢者生活福祉センター（上島町岩城2239番地）
- ・上島町弓削高齢者生活福祉センター（上島町弓削上弓削1907番地1）

（2）地域拠点整備事業

岩城地区及び弓削上弓削地区において、岩城・弓削高齢者生活福祉センターを地域の誰もが気軽に集まることのできる「居場所」とすることで、地域住民の交流の場とし、引きこもり、孤立の防止、生きがいづくり、見守りなど、誰もが安心して暮らしていける地域づくりの拠点を整備、運営の支援を行った。

① 上島町岩城高齢者生活福祉センター

団体名	活動内容	回数	延人数
ハートリーフ	ハンドメイド	36	175

	座談会	30	209
おひさま	子育てサロン	49	269
絵画教室	絵画教室	78	214
さくらや	さくらカフェ	49	727

②上島町弓削高齢者生活福祉センター

- ・ 2階部分を弓削校区児童クラブに開放した。

7. 福祉有償運送事業（公益事業）

要介護者及び身体障がい者等で、単独では公共交通機関を利用することが困難な者を対象に、社会参加の機会の確保や日常的な外出支援等を行うことを目的として実施した。

地区		年間合計	月平均
生名	延人数	105	8.8
	延回数	312	26.0
岩城	延人数	101	10.1
	延回数	327	27.3
弓削	延人数	232	19.3
	延回数	996	83.0

8. その他の事業・活動

(1) 日本赤十字社の会員募集

5月に行われる日本赤十字社会員増強運動に伴い、各地区の自治会の協力を得て、会費を募った。

目標額： 963,800円 会費総額：949,000円 達成率 98.5%

(2) 日赤短期講習会の開催

日赤愛媛県支部が実施している各種短期講座を開催し、地域住民の福祉の向上を図った。

実施日	参加人数	開催内容
令和5年10月22日	約60人	岩城北集会所において、防災グッズの紹介、救急救命法講習、煙体験、簡単レシピの調理や試食などを行った。